

深呼吸

Deep Breathing
In Subway Station

2020年の先端はもはや機能性でもなく情報性でもありません。快適で、人の活力を高め、生き生きとした毎日を支える「環境性」が先端であり日常となるでしょう。ビジネスエリア駅のデザインコンセプトのコアは次の目的地に颶爽と向かうビジネスパーソンにパワーを提供する環境づくりとなります。

※各駅のグリーンは壁面緑化のシステムを利用した本物の植栽です。パブリックスペースに多くの設置実績のあるシステムにより地下空間に新たな景色を提供します。緑化効果だけでなく、快適な都市環境づくりに賛同する企業などによるネーミングライツやスポンサーなどによって新たなニュースバリューを生み出すことも可能です。

STORY CHARACTER メーカー商社勤務 34歳女性・既婚

G 06 溜池山王 清廉な波紋 Ripple

CONCEPT

江戸の頃より脈々と続く日枝神社のパワーと、かつての蓮池の凜とした清らかさを、水の波紋、陰翳、池の水面上からグリーン越しに光が差し込むイメージで表現。

STORY 「溜池山王 14:00」
商談で溜池山王へ。すっと視界が広がるこの駅を歩くときは、一呼吸を入れ背筋をピン!と伸ばしたくなる。事実この駅を歩く人は伸びがスマートだ。背景の波紋のような陰翳は、かつて緑に囲まれた蓮の池があったこの地の記憶なんだよ、と夫が教えてくれた。歴史のエッセンスと、外資系企業の多い現在と、そのコントラストに新しい伝統の始まりを感じる。なぜか誇らしい気持ちになって改札を出た。今日の商談はきっといい商談になる。



G 08 新橋

CONCEPT

鉄道の歴史、地下鉄の歴史、近代化の歴史。
そして、これから新たな息吹を感じさせるヒューマンパワーの重なり。
新橋のパワフルさをグリーンとアースマテリアルとの重なりで表現。

STORY 「新橋 8:45」

2016年に辞令が出て新橋オフィスに来ではや4年。街は「おもてなし」に溢れている。当時、大手町のOL生活から一転してサラリーマンの聖地新橋が勤務地になることにへこんだ。今日も鮮やかなイエローの地下鉄で滑り込む新橋。滴るような緑の植物たちと木漏れ日のような照明、洗練された自然の景色が地下を忘れさせる。乗り降りするビジネスパーソンたちもこのグリーンの積層に目をやるゆとりがある。2020年の今、私は新橋が好きになっている。

未来への積層 Strata



G 05 赤坂見附

都市回廊 Corridor

CONCEPT

上下2層に分かれる赤坂見附駅で、行き交う人々の流れを創り出す。江戸時代より公の拠点である伝統性と、整理された緑を都市デザインとして空間に取り込み、視覚的に「オフィシャルな様式」をもつデザインで赤坂見附らしさを表現。

STORY 「赤坂見附 19:00」

今日は得意先と旧料亭の復刻ダイニングで食事会。「赤坂見附で食事」は大人の品格の響き。東京ガーデンテラスができてからはビジネスパーソンだけでなく、この街がもともと持つ華を求めてくる人が増えた。それでも日本橋や大手町のように正統派の成熟した貴族があるのが赤坂見附だ。街の景色以上に、意匠の行き届いた駅中の植栽と漆のような黒、銀座線のイエローゴールドがそれを証明してくれる。今日はいつもよりヒールが2センチ高い。



MTR-A-0202